

平成 27 年度第 2 回みよし市地区拠点施設整備協議会 議事録

日時：平成 27 年 10 月 28 日(水)13:30～14:40

場所：市役所 3 階 301 会議室

出席者 委 員：加藤委員長、小嶋副委員長、鈴木（悟）委員、山田委員、鈴木（勇）委員、
田仲委員、寺村委員、岡本委員、富樫委員

事務局：近藤部長、久野次長、光岡課長、森永副主幹、水野主任主査

アドバイザー：玉野総合コンサルタント(株)田中、澤寄

欠 席 委 員：長山委員、谷端委員

1 あいさつ：加藤委員長

2 議題

(1) 地区拠点施設の機能について

事務局：資料の 1 枚目をご覧ください。各地区の人口状況及び将来人口、コミュニティー単位から地域単位の集計と地区単位の集計をしています。次に地区拠点施設に類似する施設状況の立地と児童館、集会室、老人憩いの家及び公民館の立地数の整理をしています。次に、それらの施設の利用者数をグラフにより整理をしています。

資料の 2 枚目をご覧ください。三好丘交流センター、学習交流センター、明越会館の利用率の状況を示しております。

最後に、資料の 3 枚目をご覧ください。各地区拠点施設別の検討資料であります。ホールは、250 m²で 250 人程度の収容人数を想定しており、規模の類似施設としてはサンアートのレセプションホールとなります。会議室は、30 m²で 15 人程度の収容を想定しており、役員会などに使用するイメージです。多目的室は、100 m²で 100 人程度の収容を想定しており、サンアートの研修室の規模となり、高齢者のふれあいサロンや軽運動などとして利用できるイメージとしています。調理室は、70 m²で 25 人程度を想定しています。和室は、8 畳が 2 室に押入れのイメージです。交流サロンは、現在には、あまりない機能で、市民が気軽に立ち寄ることができるスペースをイメージしています。次に、各地区に必要な規模として、ホールは、きたよし地区 1 室を想定しており、大きさも 400 m²と考えています。なかよし地区は近隣にあるホールでの代用を想定しており、みなよし地区は 1 室とします。会議室は、きたよし地区は利用率が 200%を超えていることもあり 4 室、なかよし地区は 2 室、みなよし地区は 1 室、多目的室は、きたよし地区は 1 室、なかよし地区は 2 室、みなよし地区は 1 室、調理室、和室、交流サロンは、各地区 1 室、事務室以降については、ここに記載しているとおりです。

議長：今の説明で皆さんに事前に郵送されてきた、宿題のシートがついていると思いますので、それで想定とかいろいろされていると思うので、まずは、今の説明で少し確認をしたいことや質問したいことはありますか。はい、山田委員、お願いします。

山田委員：なかよし地区のホールの「近隣で代用」というのは、サンアートが近いとか、サンアートを含めてということでもいいですか。

事務局：サンアートだけでなく、今度できます図書館学習交流プラザの中の会議室、研修室、ふれあい交流館、そういった機能もこの地域に大きなものがありますので、それも含めてということとなります。

山田委員：それと、1枚目の地図を見てもらうと、なかよし地区は施設が大体北側というか、みよしの中心側にあって、福田、西一色の方は場所的にだいぶ距離があるということでしょうかと思います。

議長：上に寄りすぎているということですね。それはご質問というか、ご指摘ということですね。

山田委員：はい。どのようにカバーをしていくのか。

富樫委員：それに関して。私は福田に住んでいますが、福田はみよしの中心からみると周辺部に位置し、施設としては福祉館、児童館、事務所、老人憩いの家があり、それが1カ所にまとまっているので、福田地区内だけで行事を行うとしたら、そこで間に合っています。

議長：施設が十分にあるということですか。

富樫委員：はい、そう思います。

山田委員：コミュニティで行事などを開催する場合にはどうですか。

富樫委員：コミュニティ単位で開催する場合は、コミュニティでの会議とかもあります。なかよしの場合は、西部コミュニティだけでする場合は三吉小学校を中心として行っています。

事務局：コミュニティの総会は、人で一杯にはなっていますが、持ち回りで各地区の施設で行っています。

富樫委員：コミュニティとして何かやるというものが現在あまりなかったのも、そんなに困っているなという感じはなかったと思います。

議長：この地図自体に、さっき言われた老人憩いの家などがプロットされているわけではないので、この地図の分布がそのまま偏りではないということで、今の説明でちょっと錯覚されたのかなと思います。

寺村委員：なかよし地区の学習交流センターのことですが、ここだけは特殊だと思うのですが。

議長：2ページ目のことですか。

寺村委員：今もいろいろな団体が使っており、生涯学習の機能は図書館学習交流プラザへ移るんですよね。何が残るのかということもよくわからない。また、部屋も今ある状態

でなるべく使うようにするのか、手を入れて工事をするのか、その辺がわからない。
それで私は意見を書けませんでした。

議長：前提がわからなかったということですね。寺村委員の質問は、今の学習交流センターの中から新しい、図書館学習交流プラザへ機能が一部移転すると。その後、残ったところの使い方のイメージで、現行の施設のまま使うのか、多少改修など手を入れて利用するイメージなのかがわからないので、その辺を補足してほしいということですが。

事務局：今建設している図書館学習交流プラザは、平成 28 年 7 月オープンです。それまでは、今の既存の施設がそのまま今の事業を続けていきます。学習交流センターの中の機能で、悠学カレッジを開催しております、生涯学習課がありますが、これはまるまる移転していきますので、1 階フロアについては事務所とその 4 つの講座室がすべて移転をしていきます。ここには、他に愛知県の施設で衣浦東部保健所みよし分室という保健所機能も入っています。これは特に移転をしていきませんので、これは残ります。他に、協働推進課で行っております市民活動サポートセンター、これは NPO などの市民活動の部屋が 1 つ、日本語サークルというみよし市に在住している外国人が日本語を習うための部屋が 1 室残ります。

議長：残る部屋と移る部屋がわからなかったのですが、出ていく部屋を言ってもらって、残る部屋は、これは残ると言ってもらえると分かり易いです。

事務局：玄関から入って、1 階の右側のパソコンと 103 講義、バンビルーム、101、102、バンビルームは全部出ます。逆に、左側は全部残ります。

議長：玄関から右側のゾーンが、ほぼ移り、左側は残るということですね。

事務局：2 階ですが、現在は教育委員会所管の施設になっており、ここは移転先の工事が終わるのが平成 28 年度と聞いておりますので、平成 29 年度には全部移転することとなります。

議長：では、1 階の右半分と 2 階が空くということですね。

事務局：そうです。使える部分について一部若干の変更の可能性はありますが、大まかなイメージですと、生涯学習課の右側の部分と 2 階の部分は地区拠点施設で充てるという考えです。

寺村委員：分かりました。今も土曜日、水曜日、日本語サークルを行っているので、2 階の部屋も使っており、それが日本語サークルで使っている多文化共生センター、ここを拠点にしてほかの部屋も使わせてもらっているのですが、それは今までどおりで OK ですか。1 階をなるべく使いたいという要望を出したのですが。

議長：それはどうでしょうか。

事務局：これは来年の 7 月に移転したらすぐに、なかよし地区の地区拠点施設の整備ということはできません。順番から言いますと、以前の会議でもご確認いただいたように、きたよし地区を優先して順番に整備していきます。そのため、しばらくの間は、生涯学習課が抜けたところが空きますので、協働推進課としては、しばらくの間、1 階フロアをうまく使いたいと考えます。それは、しばらくの間ということではありますが。

議長：過渡的な措置ということですね。

事務局：はい。そういったことで対応していきます。

寺村委員：ありがとうございます。

議長：先程のご質問で、全体で今 1668 m²の床面積であるので、2 階と 1 階の右側のゾーンが移転すれば、1000 m²ぐらいは、かなり大きな規模の箱が残るというイメージかと思います。

ほかにご質問は、ありませんか。

では後半は、今から、今日の議題はこの各 3 地区についての 3 枚目のシート、それぞれきたよし、なかよし、みなよしで、きたよしの方は 2 枚目のシートを見ていただくと右側に方針が書いてあります。2 施設は建設する方向の方針で、なかよしは広域施設との併用から 1 施設で、学習交流センターを中心として改修により使いやすくしていくというのが方針であります。明越会館は 1 施設を建設と記載があります。それぞれの拠点についての部屋数やどんな機能、どんな部屋が入るのかというのが 3 枚目のシートに記載されていますが、これについて、ご意見などがありましたらお願いします。先程、規模については小嶋副委員長も十分ではないかというご意見をいただきましたが、ほかに何かご意見は、どんな些細なことでも、大きなことでも構いませんので、いかがでしょうか。

山田委員：コミュニティで行事など行う場合、三好地区は三好上が一番大きい行政区で、あとの 3 行政区は 3 つ合わせても三好上ほどないということ。それから、各施設も小さいものですから、何を行うにも、三好上で開催するようになってしまうものですから、コミュニティで使えるようなホールなどが欲しいと考えます。

議長：具体的に、今、言われたのは 1 枚目の表で言うと、なかよしの真ん中の段、三好上が含まれている三好のコミュニティ、三好コミュニティはそういうのがあるけれど、下の段の西部と上の段の天王はないということですか。

山田委員：はい。行政区単位の。コミュニティの単位で何かを行うとなると、三好上が人口も多く施設も大きいものですから、そこを利用しないといけない。何を行うにも三好上の公民館を使ってという感じになってしまうものですから、拠点地区の施設ができればコミュニティ単位で開催するときには、こちらを利用することができればと考えます。

議長：そういうことですね。質問ではなく、そういう感想ということですね。

鈴木（悟）委員：福谷の区長です。前回欠席しましたので、今お話を聞きながら、なかなか大きく立派な施設を市で作っていただけていると思っています。

先ほどから、コミュニティ単位の行事の話が出ていましたが、たまたま今年、福谷で新しい集会所を作っていますが、その中に大きいホール、多目的室になるのですが、椅子だけであれば 250 人近く入れるスペースを確保しました。それと他に事務室と会議室と 3 つほどあります。ここのコミュニティは、福谷、苅生、高嶺、あみだ堂で北部コミュニティを構成しております。北部コミュニティの行事は、苅生と福谷の公民

館で交互に行っている状況です。しばらくの間は、三好丘に大きな施設を1つ作っていただければ、福谷の集会所とそれと両方で何とか行事を行えるのではないかと感じています。

議長：ありがとうございます。

鈴木（勇）委員：南部地区は、明知上、明知下、打越、山伏で構成していますが、山伏は別として、明知上、明知下、打越は、いわゆる旧集落なので、行事などを開催すると非常に出席率が良く、集まる数も多くなります。それぞれの行政区の施設が恵まれているので通常は特に問題はないのですが、ただ、ホールに関しては拠点施設で明越会館の位置に少し大きめのものを作っていただくとありがたいかなと思います。人口で見てもわかるのですが、明知上、明知下、特に明知下は、大きなホールを区で持っており、恐らく全世帯が集まって総会を行ったときに、すべてが出席してもしっかり入れる規模のものがあります。打越に関しては、南台の住宅ができましたので急激に今人口が増えているのですが、総会なども出席率が高いものですから、集まってくると今のホールでは入れない状態になってきています。さりとて明知下のホールを貸していただいても言いづらいものですから、こういう形で少し大きめのものを作っていただくと、明知上も明知下も打越も使えるといいのかなということだと思います。

議長：3枚目のシートのみなよし地区で言うと250㎡だから、250人が一堂に会することができるぐらいのホールを提案されているのですが、そんなものがあれば大丈夫な感じですか。

鈴木（勇）委員：そうですね。もう少し広くてもいいかなと思います。他に、こまごまとした部屋は、それぞれの行政区の施設が結構充実していますので、そんなに心配はないのですが、ホールだけは少しゆったりしたものがあつたほうが良いと考えます。人口以上に出席率が良いものですから。

議長：出席率が良いというのはすごいです。最大で集まるときとしたら世帯で一人ずつ出られるぐらいの規模というのが、最大になると思います。

鈴木（勇）委員：区の総会を行うと出席率が5割近いのではないかと。3割は越します。5割近いと思います。明知下はおそらく8割近いです。

議長：すごいですね。

鈴木（勇）委員：明知上地区は、みなよし台の方たちの出席率は低いと思うので、そこまで高くないです。

議長：ありがとうございます。事務局で補足などありますか

事務局：たまたま、今のホールですが、想定としては打越、1世帯当たり4人強で、出席率を約40%で計算しましたが、出席率は、50%ですか。

鈴木（勇）委員：4割ぐらいでいいと思いますが、人口が増えています。今の段階で言えば確かに250人程度入れればいいと思います。ただ、今、人口が増えてきていますので、すぐ入れなくなるのではないかなという心配があります。

また、長寿を祝う会を行政区主催で行っていたのですが、入り切れなくなったものですから、10年かけて招待者の年齢を引き上げていきまして、今、75歳以上の人しか呼んでいません。以前は70歳から呼んでいたのですが、施設に入れなくなってしまったので、75歳以上からにしました。2年かけて1歳ずつ招待者の年齢を引き上げてきました。それでももうあと1、2年で入れなくなるのではないかと考えます。今後、80歳以上しか呼べなくなってしまうかと。そう持っていかなざるを得ないのかなという状況です。

寺村委員：ほかの地区も年齢を上げないとできないと思います。

議長：年齢を引き上げないと入れなくなるということですか。

小嶋副委員長：10年のうちに倍ぐらいになってしまうのですが、僕の考え方は逆で、今までずっと出席されている方、ずっと恩恵を受けている人たち、例えば、85歳以上は、遠慮してもらうなどの方法により。

議長：ちょうど、今、南の話になりましたので、明越会館で活動されている岡本委員、今の想定があり、ホールを、もう少しゆったりとしたほうがいいのではないかとというご意見があったのですが、何か補足などがあれば。

岡本委員：今、総合型スポーツクラブでエアロビクスなどを行っています。子どもたちが少し遊べるようなところということで、小学校の体育館を借り、エアロビクス系は各地区の公民館で行っているのですが、ホールがそれぞれの拠点施設に必要かどうかということを考えます。サンアートがあり、そこを利用して、その分、多目的室をもう少し体育館的に、天井を上げるなどすると使い勝手がいいのかなと思います。どうしてもそこでホールのようなことをやりたいということであれば、机、椅子を出したり入れたりが大変ですが、そのような形で、どちらかを優先していいものを作ったほうがいいのかな。使い勝手のいいものを作ったほうがいいのかなと思います。

議長：ちなみに、みなよし地区のブルーのラインのところを見ていただくと、多目的室、左の写真があるようなのが多分今のイメージで、1室が50㎡、50人規模という想定がされているのですが、岡本委員の感覚ではこれはちょっと狭い感じなのですか。

岡本委員：そうです。バトミントンコートがどのぐらい取れるかなど、そんなことが出てくると思います。

議長：それは実際バトミントンなどで使われているグループがかなりあるということなのですか。ニーズとして高いということですか。

岡本委員：今は小学校の体育館を使ったり、それぞれでやっています。

議長：いずれにしても天井が高いということと、軽運動ができるということのをここでできるといいと。そうするとホールとの面積の取り合いになるので、どちらかを優先を決めたほうがいいのではないかとというご意見でよろしいですか。

岡本委員：そうです。

議長：一方で、鈴木（勇）委員のホールは、これから増えていくし、足りないのではないかとという話もあったのですが。

鈴木（勇）委員：それぞれの行政区で使っているのは、私はホールという言い方をしましたが、多目的室みたいなのをホールとして使っています。

議長：写真のような舞台があって、椅子が並んでいてというものではなく。

鈴木（勇）委員：そこまで立派なものでなくてもいいかもしれません。

議長：多目的室でも構わないと。

鈴木（勇）委員：別にいいと思います。

議長：それだと面積的には兼ね合いますね。

事務局：イメージ写真がものすごくいい写真なので非常につらいのですが、この様な立派なものは作れません。

鈴木（勇）委員：そういう固定の椅子のホールだと確かに年に何回も使えないです。総会しか使えないと思います。

議長：それは問題ですよ。

事務局：床をどうするかということですが、ただ何もない広い部屋と考えています。

鈴木（勇）委員：それであればいいです。

議長：使い方を、変えることはできるということですね。

鈴木（勇）委員：兼用でできる。多目的室であり、ホールである。

議長：そうですね。利用が重ならなければ、そこで棲み分けができれば、両方が同時に使うことが多ければまた考えなければいけないですが、そうでなければ兼用できますね。では、なかよし地区のほうは、寺村委員から日本語サークルの話をされたのですが、ほかに何か気がつかれたこととか、今の想定 of 規模、機能についてご意見があれば。

寺村委員：ほかに施設があるので、この案でいいと思います。

寺村委員：先程、サロンと言われましたが、サロンは、ありますので。

議長：それはどこにありますか。この図面で言うとなかよしの市民活動サポートセンターの下のあたりですか。

寺村委員：サロンと書いてあるのですが、女子便所、男子便所の隣。

議長：生涯学習課の下ですね。正面の。

寺村委員：今あります。だからそこを使えばいいと思います。

議長：新たに設けることは要らないと。これは面積が書いていないので、こういう機能を用意しますという意味だと思います。他に、何か気がつかれたことがありましたら願います。

富樫委員：なかよし、学習交流センターだけ2階建てで、そのまま使うのですね。

事務局：基本的には内装を変えるなどをするようになります。

富樫委員：調理室を作ったり。今はバリアフリーになっていますか。

事務局：入口のところは、スロープを設置し入れるようになっています。

富樫委員：ただ、2階は車いすの方たちも、もし、みんなで集える拠点施設ということであれば、そういう方も入れるようにしないといけないかなと思います。エレベーターをつけていただいたほうがよい。

議長：なかよしの図面を見ると、2階に上がれるのは屋外階段が1つと、屋内階段が1つしかなくて、エレベーターがないということですね。だから車椅子だと上がりづらいというご指摘ですが、これは事務局、いかがですか。

事務局：検討していかなければいけない課題だという認識はあります。

議長：わかりました。結論は出ないですが、ご意見ということで賜ります。

富樫委員：全体にちょっとわからないところがあるのですが、3枚目のところ、きたよし地区で※印が書いてありますが、下に2施設建設予定のため、対象利用者は三好丘地域のみを想定し、この規模の1室とか4室を決めてあるということですね。あともう1施設作るわけですね。これもこれに準じた大きさになるのか。

議長：倍になるのかという意味ですね。

富樫委員：これを2倍したものができるのでしょうか。

事務局：これは三好丘地区の交流センターの位置にこういう施設を作りたいということです。2つ目については場所も未定で、時期的なものもまだはっきりしていませんので、あえて今回ここでは、ご検討いただかなくていいのかなと考えています。

富樫委員：ということで、まだ検討はこの場ではされないということですね。

事務局：もう少し先にさせていただきます。

富樫委員：わかりました。ありがとうございます。

議長：田仲委員、気がついたこと、今ご利用になっている三好丘交流センターのことでもいいですのでご意見はありませんか。

田仲委員：きたよし地区の三好丘交流センターを利用していますが、先ほどからホールの利用のことをいろいろおっしゃっていたので、私も三好丘交流センターのホールを使ってエアロビクスをやっています。176㎡というのはエアロビクスにしてはちょっと大きいです。コミュニティの集まるホールとしての機能と多目的の機能と両方持たせるというのも、もちろんそのほうが私どもも使いやすいし、そのほうが絶対にいいと思います。あと、大きさ、きたよし地区の施設は400人規模、400㎡、これは確かに大きいとは思いますが、大きいものをドンと作って、コミュニティの集まりでは使えるけれど、普段、利用では、使いにくいのかなと感じます。小さくするのももちろんですが、分割して使えるような。

サンアートのレセプションが分割して使えると思うのですが。ただ、あそこは分割して使えるのですが、パーティションで仕切ったような形なので、音を出したりすると、隣に、まる聞こえになってしまうので、分割しているわりには使いにくいということがあります。大きい施設も、もちろん必要ですし、大きすぎて、使いづらくなると稼働率が下がって、利用率が下がってくると思います。せっかく、良いものを作っても意味がないと思いますので、機能的なもの、使い方というのはもう少し考えてもいいのかなと。

議長：非常にいい提案ではないかと思います。大きいのはあつていいけれど、分割利用ができるということですね。しかも、音が隣室に漏れないように。

田仲委員：仕切れるような形が私どもはありがたい。それと合わせて、多目的、そういう施設があればそちらのほうを使いやすいし、サンアートの研修室、実際、私も使ったことがあるのですが、軽運動として床がフローリングになっていて使いやすいものもあるのですが、軽運動として使うには 100 m²というのがちょっと微妙な大きさです。

議長：小さいということですか。

田仲委員：はい。研修とかほかの物事については十分な大きさだと思うのですが、運動に関しては、もちろん 100 人も使えませんし。私どもで 1 人当たり 3 m²ぐらいは必要かと。

議長：会議とかの割合では 1 m² 1 人。

田仲委員：そうです。多目的で考えて運動もしようと思ったら、もう少し大きいものが必要になるかと。

議長：先ほど、ちょうどホール、多目的の部屋のことは岡本委員からご指摘があったのですが、運動ができるということ、一定の大きさがあるだろうということ、それと、集会和運動にも両方、分割できるということが田仲委員のご指摘だと思います。ありがとうございます。

それでは、お待たせしました、副委員長、何か気がついたことがありましたらお願いします。

小嶋副委員長：これ以外のところで、先ほど規模の話はしたのですが、きたよし地区は十分すぎるかなと思っています。いろいろなところの話を聞いていますと、実はきたよし地区というのは、どこにも調理室がありません。こういうのがあるというのはすごく嬉しい。どこの施設も持ってないです。集会所にもありません。その意味で、これからの子どもの面倒を見る機会がとて多くなってくるということを小学校の先生からも聞いていますので、そういうところに料理でボランティアをしながら子どもの面倒を見るようなこともこれからは、やっていかなければいけないのではないかと思います。その意味で、これはとてもありがたいことだと思います。

それから、小さいところでは、カリヨンハウスもそうですが、カリヨンハウスで全館を借り切って行事をやるときに、全館に同時に案内を放送する設備がないです。例えば今ここでイベントをやっていますから皆さん来てくださいというのを全館に放送できない。1 つ 1 つの部屋でしか完結できていないです。ですから、一番最初に私の提案で書いたのですが、館内放送ができるようにしてもらえないかと思います。我々行政区は全館を使っていろいろな行事をやりますので、館内放送ができるようにしていただきたいと思います。

それから、ホールや会議室に OHP の設備を作ってほしい。会社などはほとんどやっているのですが、天井づけのプロジェクターを作ってほしい。下に置くと邪魔になりますので、天井づけのプロジェクターでプレゼンテーションできる設備を、会議室全部とは言いませんが、ホールと一部の会議室には、ほしいなと思います。

それから、1 つ 1 つの電源のコードの容量で、多分こういうところというのは何かあったときに避難所になる可能性もあるでしょう。どうしても市役所が作る電源の容量

というのは 20A ぐらいがマックスとなってしまうので、なかなか熱を使ったときに利用できないということで、最低限 30A は用意してほしいと思います。

それから、駐車スペースが今ここでは明らかになっていないので、そこを明らかにしてほしい。

車椅子用のトイレ、誰でも使える、車椅子も入れる。それから、無線 LAN は、当然あるのでしょうか。

議長：小嶋副委員長が言われているものは、どちらかというと次の基本計画の基本設計や実施設計でやるようなことになるかと。とりあえず話してもらってということで。

小嶋副委員長：もう 1 つ言っておくと、これは大きいのですが、これはいろいろ設備を作っていますが、今の設備は基本的には中で飲食を許さないんです。敬老会などを開催したときに、原則、認めないということになっていると行事をやりにくい。飲食を認めないというのは、なかなか難しいんです。ですから、せっかくこういう機会で施設を作るのであれば、飲食を含むような行事もできるようにしていただきたい。

議長：建てた後の運用の話ですね。

小嶋副委員長：これだけのものが建つと嬉しいです。皆さんが意見を出してくれましたので、よろしく願いいたします。

議長：ありがとうございます。

議長：今日は、一応機能と規模についての話なのですが、先ほど細かい施設に伴うプロジェクターの話や全館アナウンス、それから電源の容量ですとか、駐車場、運用のルール、飲食、不許可にしないようにという意見がありましたが、これは一応ご提言ということでお預かりするという事でよいですか。

では、規模の話で、特別今のところ、3 枚目のページを見てほしいのですが、3 枚目の中で不都合だということところはほとんどなかったのですが、若干大きいかなという話と、他は人口が現在の人口で割り出しているものについてはもう少し人口が増加することも見越した、余裕をとというご指摘があったこと、それからホール単独、多目的室単独で考えるのではなく、特に多目的室は運動で計算すると 1 m² 1 人というのはちょっと計算は、おかしいということもあるので、合わせてそういう余裕を確保しようということと、あと、岡本委員から天井の高さのご指摘がありました。今回これもまた来年度の話と思いますが、そういった軽運動ができるような空間として設ける。しかも、それを分割できるということが利用率を上げ、使いやすさを上げることになるのではないかとご指摘がありました。

それ以外に、どの施設にも言えることでしょうけれど、バリアフリーということで、エレベーターなど、要するに 2 階をそのまま残して使うのであれば 2 階のアクセスも考えてほしいというご意見もありました。全部結論を出す話ではないですが、この規模と機能に関して今日の委員会ではこういう意見が出ました。どうしても、言っておきたいとか、これを忘れていたということがあればそれを共有して今日は終わりたいと思いますが、いかがでしょうか。

山田委員：はい。明越会館の利用率が、2年前から特にと多目的室が減っているのですが、何か要因がありますか。

議長：80.46が47.04に激減しています。25年度に。これは何か理由があるのですか。

事務局：当方も調べましたが、その中でずっと利用していた団体が4団体か5団体か、急に利用いただけなくなってしまったということで、この利用率がかなり落ちてしまったということです。

議長：なるほど。でもそれで落ちるということはかなりのリピーターというか、ヘビーユーザーだったということですか。

事務局：そのようです。定期的にご利用いただいている利用者でした。

議長：他はよろしいですか。事務局は何かありますか。

事務局：特にありません。

議長：今日の1番の議題というか、ご意見をいただいた中のメインの議題である地区拠点施設の機能、規模も含めてですが、これについては以上で審議を終えるということでしょうか。慎重な審議をいただきましてどうもありがとうございました。事務局に進行をお返ししたいと思います。

事務局：いろいろとご意見をいただきありがとうございました。今日、宿題もお出しし、コピーを先に見させていただきまして申し訳ございませんでした。この辺のところも拝見させていただいて盛り込んでいきたいと考えております。

次回でございますが、先ほども申し上げました、年明け1月下旬ごろ3回目を行うということで、次回、最後ということになります。いよいよ答申という形になりますので、大変申し訳ございませんが、3回目の会議の前に答申案を皆様方にお届けさせていただいて、次回は、予めご意見をいただきたいと考えておりますので、大変申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

議長：1つだけお願いがあります。第1回と第2回で、だいぶ間が空いて、次回、第2回と第3回も間が空くので、今日の議事録も、概要で構いませんので、第1回と第2回の議事概要を事前にお送りいただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

事務局：分かりました。事務局からは、以上です。

議長：以上で、今日のみよし市地区拠点施設整備協議会を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。